



業界・企業規模に関わらず「ITテクノロジー」はあなたの経営課題を解決します

<p>例えば 農業</p> <p>AIで農作物の収穫時期を管理</p> 	<p>例えば 医療</p> <p>RPAで医療書類処理の自動化</p> 	<p>例えば 建設業</p> <p>現場で撮影したデータをクラウドで共有</p> 
<p>例えば 製造業</p> <p>IoTで生産管理</p> 	<p>各種業界 導入事例</p> <p>各種業界における 導入事例の一部をご紹介します</p>	<p>例えば 観光産業</p> <p>データを活用した来客予測、業務効率UP</p> 
<p>例えば 飲食店</p> <p>来店客の予測による利益率UP</p> 	<p>例えば 物流業</p> <p>配送ルート最適化で効率化</p> 	<p>例えば オフィス</p> <p>デジタル化・テレワークの推進</p> 

本事業への参加の流れ

- 1 受付**  セミナー等への参加・お問合せによる申し込み
- 2 相談**  ISCO担当者によるヒアリング・助言
- 3 選定**  支援の方向性検討、担当ITコーディネータ (ITC) の選定
- 4 技術体験**  ニーズにより、県内外で先進技術の調査・体験を実施 (旅費等一部支援)
- 5 計画策定**  ITC派遣、課題調査・提案・補助金等情報提供・計画策定 (25時間程度・無償)

事業参加者の声

補助金を活用し、新サービスを展開!
課題を整理したうえで補助金情報の提供やパートナーの紹介を頂き、新サービスの展開に向けた第一歩を踏み出しました。補助金も無事に活用できました。

勤と経験の経営から、データによる経営へ!
先進事例のデモンストレーションに参加し、データを基に現場でスタッフ自身が戦略を立て、それを明日につなげていく、データドリブな店舗経営の実践例が参考になりました。自社でも導入し、スタッフの笑顔を増やしています。

ITをビジネス戦略に活かし、経営改革を実現!
ITコーディネータ、ISCOからの助言により、IT活用における課題を、ひとつ目線上げて理解することができました。ITを利便性を高めるためのツールとしてではなく、ビジネス戦略 (業務効率化、知的資産の共有、中長期からの視点) として活用する視点をもって、ご対応いただきました。

先端IT利活用促進事業

業界・企業規模に関わらず 「ITテクノロジー」は あなたの経営課題を解決します

各業界における導入事例は裏面をご確認ください



お問い合わせ先
一般財団法人 沖縄 IT イノベーション戦略センター
【先端IT利活用促進事業】 TEL: 098-859-1831
E-mail: ait@isc-okinawa.org

沖縄県商工労働部情報産業振興課委託事業

県内企業の課題解決に向けた「先端的IT利活用」の取組を支援します。

AI

応用

- 自動翻訳 ●画像認識
- 3Dゲーム ●ロボット
- チャットボット
- 自動運転車 等

言葉の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術。近年では機械学習が注目されている。

IoT

IoT (モノのインターネット) とは、様々な「モノ(物)」がインターネットに接続され、情報の収集、交換により相互に制御する技術。

応用

- センサーでデータ収集する在庫管理システム
- 遠隔地での農産物管理システム
- 移動体の位置を管理する配送システム 等

ドローン

プログラミングによる自動移動も可能な端末ロボットで、小型の無人航空機。

応用

- 測定 ●防災 ●撮影 ●配送
- 農作物管理 ●農薬散布 等

ロボット

人間に代りし何らかの作業を自律的かつ連続的に行う装置、または機械。

応用

産業用、掃除用、介護用など用途に開発されたロボットや、機械的ロボットとは別にコンピュータ言語によるプログラムやソフトウェアも範疇に含まれる。

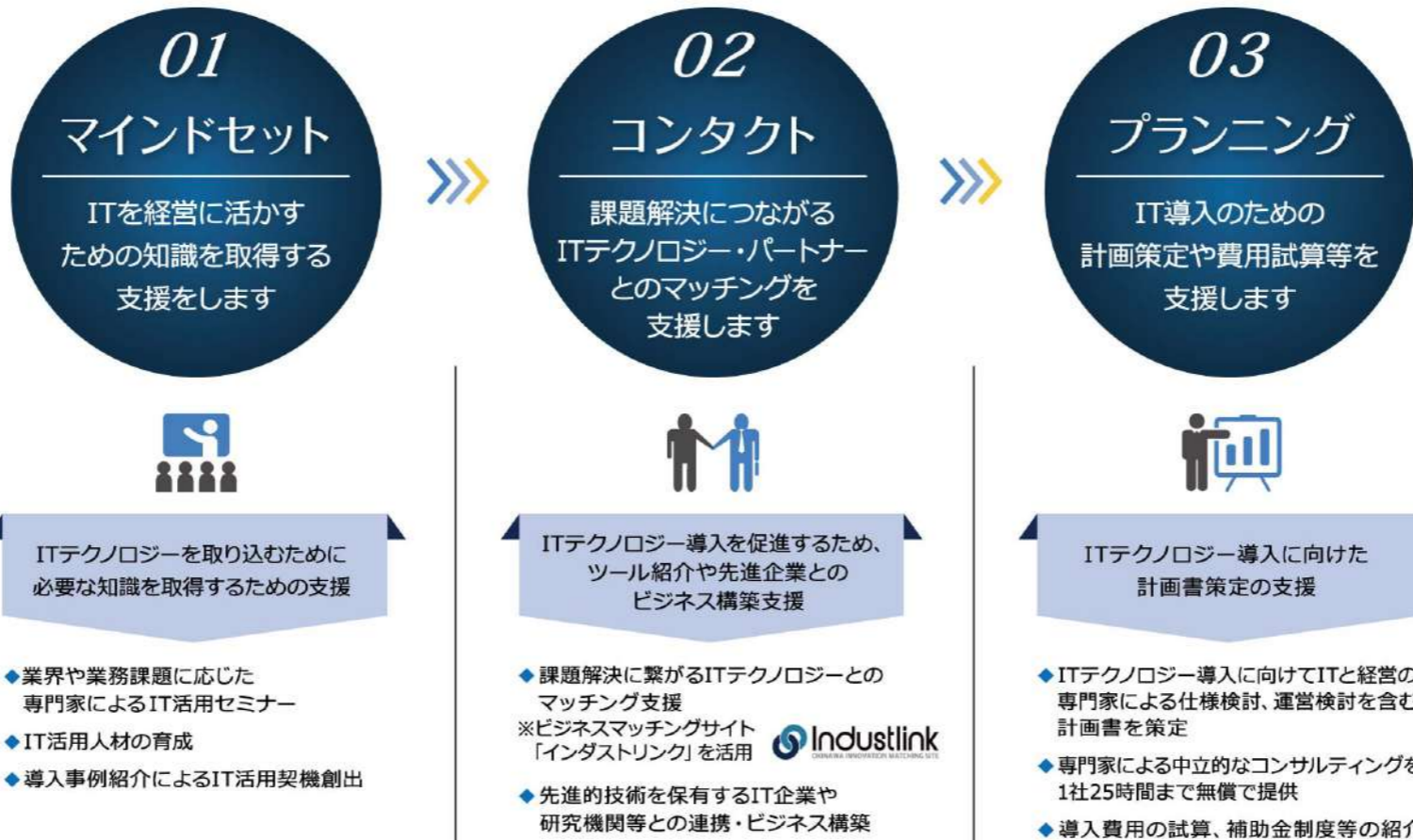
「先端 IT 利活用促進事業」とは?

県内企業の皆様の業務課題を解決し、現場の効率化・省人化、データ収集、見える化、自動化、情報共有など、経営を一步前進させ、現場の負担を減らし、より「稼げる仕組み」づくりを推進するために、専門家を派遣しIT導入に向けた課題調査や計画策定、県内外での最新技術体験を支援します。

沖縄県内に事業所をお持ちの皆様、こんなお悩みにありませんか?

- ✓ 人手不足の対策としてRPAやロボットを使った省人化、効率化に取り組みたい
- ✓ 店長の勤と経験に頼った店舗運営、AIとデータで業務を可視化できないか
- ✓ デジタコや車載ツールを導入したはいいけれど、データ活用方法がわからず宝の持ち腐れ
- ✓ 危険な場所の点検や故障の検査にドローンを使えないか
- ✓ VR/ARを使って、現地に居るような疑似体験が体験できないか
- ✓ 農家の高齢化や人手不足に伴う課題をAIやIoTで解決できないか
- ✓ 父から会社を継いだ。心機一転、これまで取り組めなかった新しいサービスをITを使ってやってみたい
- ✓ エクセルの顧客管理を卒業して、全社で顧客情報を共有・データを活用した営業に転換したい

課題解決に向けた「先端的IT利活用」の取組を支援します。



VR/AR

応用

- 映画 ●アニメーション
- ゲーム ●観光ガイド
- 広告 ●教育・人材育成
- 医療 ●建築 等

VR (仮想現実) は、コンピュータで現実似せた仮想世界を作り出す技術。AR (拡張現実) は、コンピュータ・グラフィックスなどで作った仮想物体を現実世界に反映させる技術。

ビッグデータ

インターネットの普及やコンピュータ処理速度の向上により蓄積された多量データ。

応用

ビッグデータの分析による需要予測、道路交通状況、気象状況などをリアルタイムで把握。

RPA

ロボティック・プロセス・オートメーション (RPA) は、仮想知識労働者などと呼ばれ、特にルーチ的な事業プロセスを自動化する技術。

応用

データ入力、照会、取得等の手作業で行っている業務やパソコン操作を自動化する。

クラウドサービス

インターネットなどのネットワークを経由して、パソコン、スマートフォン、サーバー等のコンピュータ資源にサービスを提供する技術。

応用

電子メールやグループウェア等のアプリケーションをクラウドから受けるSaaS (ソース) と呼ばれるサービスや、サーバーやストレージをクラウド上に設け、外部組織との情報共有を可能にする。